

感染対策チェックリスト (口腔ケア場面)

<準備するもの>

物品内容	チェック	物品内容	チェック
手指消毒剤		コップ（個人用）	
使い捨てプラスチック手袋 (ケア対象者1人あたり1双+予備)		歯ブラシ（個人用）	
使い捨てビニールエプロン (ケア対象者1人あたり1枚+予備)		スポンジブラシ（使い捨て）	
サージカルマスク (ケア対象者1人あたり1枚+予備)		洗口剤、歯みがき剤（必要時）	
アイシールド又はフェイスシールド		口腔ケア用ウェットガーゼ	
		口腔ケア用保湿剤	
		ゴミ袋	

No	内容	理由	チェック
1	手指衛生を行ったか	自分の手指についている病原体から利用者を守る	
2	利用者に対し、今から口腔ケアをすることを説明したか	声かけにより安心感を与える	
3	必要物品を準備できたか	<ul style="list-style-type: none"> ・導線を短くして周囲への汚染を避ける ・利用者から目を離さないでケアをする 	
4	部屋の換気をしたか	利用者が持っている（かもしれない）病原体から自分を守る	
5	防護具を正しい順番で着用したか ①手指衛生 →②エプロン →③マスク →④アイシールド →⑤手袋	利用者が持っている（かもしれない）病原体から自分を守る	
6	飛沫を浴びないように立ち位置を工夫したか	介助者は、正面に立つと飛沫を浴びるリスクが高くなるため、可能な限り正面に立たずに横から行う	
7	ケアの前後に、口腔内の食物残渣や動揺歯、出血の有無等を観察したか	誤嚥や誤飲の原因となる	
8	利用者ごとに、適切な体位をとったか (原則、頸部前屈位の座位) <麻痺がある場合> 健側が下側になるように、頭を左右に傾けているか	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れや汚水、唾液が気道に流入しにくいようにし、誤嚥を予防する ・嚥下機能が低下している麻痺側を下にすると、誤嚥するリスクが高くなる 	

No	内容	理由	チェック
9	口腔内を加湿したか ・うがい可能→ぶくぶくうがい ・うがい困難→スポンジブラシやガーゼ等	<ul style="list-style-type: none"> ・ひび割れや疼痛、出血を防ぐ ・乾燥して固着した汚れを無理に除去すると、口腔粘膜を傷つける可能性がある ・乾燥していると固着した汚れが残り、細菌が繁殖する ・誤嚥予防のため、スポンジブラシの水は十分に絞ってから口に入れる 	
11	歯ブラシはペンのように持ち、軽い力で小刻みに奥から手前に1～2歯ずつ磨いているか	握ると力が入ってしまい、歯肉を傷つけてしまう	
12	ブラッシングの順番は、あらかじめ決めているか	細菌繁殖の原因となる磨き残しを防ぐ	
13	スポンジブラシで、口腔粘膜の汚れや舌苔を除去したか	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔内の細菌繁殖を防ぐ ・摂食・嚥下機能の廃用を予防する 	
14	うがいまたは口腔内をウェットガーゼで拭き取ったか	汚染物を除去し、誤嚥性肺炎や菌血症の原因となる細菌数を減少させるため	
15	口腔内を保湿したか	口腔内が乾燥していると、唾液による自浄作用の低下、痰や剥離上皮の堆積等、汚染されやすい	
16	利用者を安楽な体位にし、口腔ケアが終了したことを伝えたか	利用者に安心感を与える	
17	《歯ブラシの洗浄、保管》 ・防護具を着用したまま洗浄しているか ・複数の歯ブラシをまとめて洗浄していないか ・ブラシ面を上にして立てて乾燥させているか ・個別に保管しているか（歯ブラシの毛先同士が触れあっていないか）	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が持っている（かもしれない）病原体から自分を守る ・他者の歯ブラシと触れ合うことでウイルスや細菌がうつることを防ぐ ・細菌の繁殖を防ぐ 	
18	コップは洗浄し、乾燥させているか	細菌の繁殖を防ぐ	
19	ケア後は、すぐに正しい順番で防護具を脱衣したか ①手袋 →②エプロン →③アイシールド →④マスク	一番汚染している手袋から脱衣し、周囲の汚染を防ぐ	
20	手指衛生を行ったか （また、「汚染したかも」と思った場合は、その都度石けんと流水による手洗いを実施したか）	利用者の持っている（かもしれない）病原体から自分と環境を守る	